

Geoslicer (ジオスライサー)

活断層調査 ～地震災害の軽減に向けて～



背景

- ・活断層調査では、トレンチ調査（地盤を掘削して壁面を地層断面を観察し、地層の変形や変位状態から活断層の活動履歴を読み取る手法）が主体。
- ・現実には用地の確保や、地下水位の高いところでの作業が難しく、垂直な壁面は危険を伴う。
- ・現在、これらの問題点を解決する方法が求められている。

特徴

- ・採取した地層は、その場ですぐに観察できる。
- ・必要に応じて地層断面として実験室に持ち帰ることが可能である。
- ・抜き取る土砂がトレンチ掘削の1/100以下である。
- ・貴重な地質学的情報の損失を最小限に抑えることができる。

※ジオスライサー (Geoslicer) , 地層抜き取り調査法は特許認定を受けた技術です (特許番号 : JP2934641)
※ジオスライサー (Geoslicer) は、復建調査設計 (株) の登録商標です

復建調査設計株式会社

URL <http://www.fukken.co.jp>

お問合せ先

- 東京支社 第一技術部
- 四国支社 地盤技術課
- 九州支社 地盤技術課

- 担当 : 高田 TEL (03) 5835-2631 FAX (03) 5835-2632
- 担当 : 木下 TEL (087) 826-1913 FAX (087) 826-2026
- 担当 : 市原 TEL (092) 471-8324 FAX (092) 415-3751

本 社 〒732-0052 広島県広島市東区光町2丁目10-11 TEL (082) 506-1833 FAX (082) 282-5215

ジオスライサーの概要

- ・地層をスライス断面として、採取する方法とその装置
- ・日本発の独自技術（特許番号：2934641）
- ・サンプルボックスとシャッタープレートとを、地中で併合させるようにそれぞれ別々に地中に打ち込み、2枚の平板に挟まれた地層を抜き取る方法

